

JAとりで通信

第329号 2018年2月27日



発行 JAとりで総合医療センター 〒302-0022 茨城県取手市本郷 2-1-1 E-mail: toride@medical.email.ne.jp 発行人 新谷 周三
TEL 0297(74)5551 (代) URL http://www.toride-medical.or.jp/

日々の呼吸ケアを見直そう

〈第5回茨城急性期チーム医療研究会を開催〉

1月21日、第5回茨城急性期チーム医療研究会（事務局長、水戸協同病院救急部・集中治療部 救急集中治療科准教授、長谷川隆一先生）が当院で開催されました。茨城県内で救急治療やICUなどの急性期医療に携わる医師や看護師、コメディカルの皆さん約80名が参加しました。テーマは「もう一度日々のケアを見直そう」。4部門（①人工呼吸器が接続されている症例について離脱と抜管を考えるグループ



閉鎖式吸引コーナー
(MEによる説明)



口腔ケアコーナー
(歯科衛生士による説明)

ワーク②自動カフ圧計の有効性について③閉鎖式吸引の有効性について④気管チューブが挿管されている場合の口腔ケアについて）のワークショップが設けられ、参加者は各会場を順番に周りながら参加していました。閉鎖式吸引のコーナーでは、人工呼吸器に接続された模擬の肺を使って講師が説明した後、実際に参加者が吸引チューブを使って練習を行っていました。口腔ケアのコーナーでは、歯科衛生士が模型の口腔内をポケットライトで照らしたりプリントを使って、観察のポイントやケアの方法を分かりやすく解説していました。

腹膜透析の基礎から現状まで

〈第16回茨城腹膜透析研究会を開催〉

2月10日、第16回茨城腹膜透析研究会（会長、筑波大学医学医療系腎臓内科学教授 山縣邦弘先生）が当院の講堂で開催されました。オープンセミナーでは、当院の腎臓内科松本医師が腹膜透析の基礎知識について、田中医師が合併症の管理についてそれぞれ解説しました。看護・栄養面では、腎センターの竹井看護師、栄養部の川下管理栄養士が当院での取り組みを紹介しました。会場にはメモをとりながら聴講する

参加者が多く見られました。引き続き開催された研究会には60名が参加。特別講演では東京慈恵会医科大学葛飾医療センター、腎臓・高血圧内科の診療部長、池田雅人先生が「腹膜透析をもっと広めよう！」慈恵医大葛飾医療



池田 雅人 先生



茨城腹膜透析研究会の様子

センターの取り組み」というテーマで話され、患者向けに作成したビデオも上映されました。参加者からは、葛飾医療センターの腹膜透析患者数が、茨城県全体の腹膜透析患者数より多い背景などについて質問がありました。活発な意見が交わされました。

チーム医療で患者さんを援助

新棟6階回復期リハビリ病棟 師長 神林 とも子



私はこちらの病棟に配属になり約3年になります。最初は一般病棟と違う面が多くて戸惑いました。「できるADL」から「しているADL」へ。こちらの病棟では、疾病の治療が一段落した患者さんが、日常生活を送れる「ちから」を身に着けてもらうために援助し、社会復帰を促しています。看護師、病棟専属のセラピスト、介護福祉士、看護助手がチームとして患者さんにかかわることを大切にしています。ご家族への指導や援助も大きな柱のひとつです。入

院中に数回ご家族とお会いし、リハビリの内容や介護等についてお話ししたり、スタッフの前で介護の練習をしてもらうこともあります。退院が近くになると、セラピストがご自宅に伺って段差や間取りなど、患者さんが家庭で安全に生活していくための環境が整っているかを確認させていただきます。最近も腰痛で入院されていた男性の患者さんから「毎日が楽しくて仕方ありません。おふくろと2人ですが、余生を大切に生きていきます」とお手紙を頂きました。私たちの仕事は患者さんの人生を後押ししていると実感しています。

変化を怖がらずステップアップを

新棟5階小児科・小児外科病棟 師長 窪田 由花



スタッフにはいつも笑顔でいてもらいたいです。沈んだ表情はすぐに子供さんに伝わりま

す。病棟所属の保育士がいま（NICU）もあります。スタッフには、成長に合わせた病棟保育も行っています。疲れていそうなお母さんにお声をかけて交代し、少し休んで頂いたり、用事のあるお母さんの代わりに見守ってくれていただきます。新生児集中治療管理室（NICU）もあります。勤続30年ですが師長としては新人です。内科系、外科系の病棟で先輩師長の方々に指導された経験を大切にしています。昨年から小児外科も新設されました。変化を怖がらず、スタッフからも問題提起してもらいステップアップを目指します。

新

リーダーに聞く

院内保育所から お誕生日おめでとう

五十嵐 心春 (いがらし こはる) さん

2さい

平成28年2月15日生まれ



好奇心が旺盛でいつも元気いっぱいの心春ちゃん。おしゃべりが上手になってきて、いろいろお話ししてくれます。これからたくさん遊んで元気いっぱい大きくなってね。2歳の誕生日おめでとう。・・・お母さんより

藤澤 奏太朗 (ふじさわ そうたろう) くん

3さい

平成27年2月16日生まれ



♡Happy Birthday♡
いつも、楽しいお話たくさんしてくれてありがとう!!
これからも、元気な「そうくん」でいてね。
・・・ママより♡

栄養だより (5)

不足していませんか カルシウム

栄養技師部長 唯根理子

骨の健康に欠かせないカルシウム。カルシウム不足は、成長期においては骨や歯の形成障害を引き起こし、高齢期においては骨粗しょう症のリスクを高めます。



カルシウムは、炭水化物やたんぱく質などに比べ吸収されにくい栄養素です。そのため、食事からカルシウムをとる場合、食品に含まれる量だけでなく、体内でどれだけ吸収されやすいかも大切です。牛乳や乳製品の吸収率は比較的高く、なかでも牛乳は約40%と最も吸収されやすい食品です。そのほか、いわしやかさぎなどの小魚は約33%、小松菜やモロヘイヤなどの野菜は約19%といわれています。

カルシウムを含む
食品をとりましょう

ビタミンKを含む
食品をとりましょう
ビタミンKは、吸収さ



ビタミンDは、カルシウムの吸収を助けてくれる栄養素です。カルシウムを十分に摂取しても、ビタミンDが足りないとカルシウムの吸収と代謝が悪くなります。魚類、きのこ(きくらげ)などにビタミンDが多く含まれています。

ビタミンDを含む
食品をとりましょう

栄養バランスのとれた食事は、カルシウムの吸収に必要なビタミンDや、

バランスよく
食事をとりましょう



れたカルシウムを骨にとり込むのを助ける栄養素です。不足すると、骨に十分なカルシウムがとり込まれず、骨がもろくなりやすくなります。納豆や葉野菜などにビタミンKが多く含まれています。

今回は『食べていますか? 朝ごはん』についてお話ししたいと思います。

骨を強くするためには、運動で骨に適度な刺激を与えることも必要です。カルシウムの摂取と運動習慣を心がけ、骨を丈夫にしていきましょう。



骨の丈夫さと密接な関係をもつビタミンKなども過不足なく摂取することにつながります。いろいろな食品を毎日の食事にとりいれましょう。

マスク着用にご協力をお願いします

インフルエンザが流行しています。院内での感染を防止するため、**面会時もマスクを着用し、ロビーで面会**して頂くようお願いします。**マスクを着用していない方の面会はお断りさせていただきます。**

感染対策委員会

人の動き

【採用】 松岡 竜也 産婦人科
(1月) 小泉 仁志 研修医
東ヶ崎 早苗 看護部
寺田 絵里香 医事課

	現在	本年4月から
金曜日の午前の診察	2診	1診
午後の診察	月曜日・火曜日	火曜日・水曜日
フットケア外来 (診察場所)	月曜日の午後 (糖尿病センター)	火曜日の午後 (皮膚科外来)

		月	火	水	木	金	土
午前	1診	○	○	○	○	△	○
	2診	○	○	○	△	○	○
午後	1診	手術	○	○	△	△	△
	2診		○	○	△	△	△
			フットケア				

● 宮崎医師と赤石医師は、3月末日で退職となります。後任は、野嶋医師と高橋医師になります。

皮膚科外来の診察日が 4月から変わります